

2025 年 5 月 19 日

報道関係者各位

フクシマガリレイ株式会社

「脱炭素エキデン 365」プロジェクトでの 活動実績

フクシマガリレイ株式会社(本社：大阪市西淀川区、代表取締役社長 福島 豪)は、大阪府と株式会社スタジオスポビー（東京都中央区 代表取締役 夏目恭行、以下「スタジオスポビー」）が発足した「脱炭素エキデン 365」プロジェクトに 2024 年 4 月より 1 年間参画し、約 49,000t-CO₂ の二酸化炭素排出量削減に貢献いたしました。

GALILEI



1. 活動内容及び実績

○活動内容

SPOBY を活用した日々の脱炭素活動に加えて、当社独自の取り組みとして環境負荷低減製品（R1234yf、R744（CO₂）等のノンフロン冷媒を使用した製品）の販売を通して、CO₂ 排出量削減に貢献しました。

○活動実績（2024 年 4 月 14 日～2025 年 4 月 13 日）

CO₂ 排出削減貢献量：49,202t-CO₂



環境負荷低減製品イメージ

（左：R1234yf 仕様 タテ型冷蔵庫 右：CO₂ 冷媒採用ノンフロン冷凍システム “NOBRAC”）

2. 脱炭素エキデン 365 とは

大阪・関西万博開幕までの一年間（2024 年 4 月 14 日～2025 年 4 月 13 日）、民間企業と連携して CO2 排出抑制に取り組み、その脱炭素活動のスコアが見える化し、EXPO グリーンチャレンジへの貢献をめざすものです。

- ・ 期間：2024 年 4 月 14 日～2025 年 4 月 13 日（大阪・関西万博開幕までの 1 年間）
- ・ プロジェクト運営会社：株式会社スタジオスポビー
- ・ オフィシャルパートナー：大阪府
- ・ 所轄窓口：環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課 気候変動緩和・適応策推進グループ
- ・ 参画予定：全国の民間企業数百家
- ・ プロジェクト HP：<https://deco-ekiden.jp/>

フクシマガリレイは地球環境を取り巻く様々な問題への取り組みとして、2050 年までに「カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現」に向けたサステナブルビジョン『Dramatic Future2050』及び 2030 年までの SDGs「13.気候変動に具体的な対策を」への取り組みを柱として、「環境アクション 2030」を策定しています。また、パーパス「食といのちの未来を拓く」の実現に向けて、取り組むべき課題「マテリアリティ(重要課題)」(<https://www.galilei.co.jp/company/purpose/>)を 2023 年 8 月に特定し、そのマテリアリティの一つ「脱炭素社会の実現」を掲げております。

「脱炭素エキデン 365」プロジェクトに参画したことで、全社員でマテリアリティ「脱炭素社会の実現」を実践する活動となり、当社の取り組みを生活者の皆様にも広く認知いただくきっかけとなりました。今後も「脱炭素社会の実現」への取り組みをはじめ、社会課題解決を通じて、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指します。

お問い合わせ先 ガリレイ株式会社（担当：総務グループ 経営企画課）

〒555-0011 大阪市西淀川区竹島 2-6-18 TEL：06-6477-2011 FAX：06-6477-0755

URL：<https://www.galilei.co.jp/>